

# 伊万里 市議会だより

## 第29号

平成21年  
(2009年)

## 4月



**ボール、待て待て～** (伊万里っ子・キッズスポーツフェスティバル)

### ■特集 第4工業用水道建設事業の近況

3月補正： 12億4,590万円

補正後の予算

一般会計：217億 554万円

(対前年度同期 6億485万円

2.9%増)

平成21年度当初予算

一般会計：198億6,600万円

(対前年度同期 4億9,800万円、  
2.6%増)

特別会計：150億6,287万円

★平成21年第2回定例会は6月9日(火)開会予定です。

## 平成21年伊万里市議会第1回定例会 会期日程

3月

開議時刻 午前10時

日	種別	内容
2(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等43件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
4(水)	本会議	議案等に対する質疑
5(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
6(金)	本会議	常任委員会 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 議案の討論、採決
9(月)	休会	特別委員会（交通網・港湾・企業誘致対策）
10(火)	休会	特別委員会（地域医療整備対策）
11(水)	本会議	一般市政に対する質問
12(木)	本会議	一般市政に対する質問
13(金)	休会	全休（中学校卒業式）
16(月)	本会議	一般市政に対する質問 市長提出議案の提案理由説明 追加議案に対する質疑 追加議案の常任委員会付託
17(火)	休会	常任委員会
18(水)	休会	常任委員会
19(木)	休会	全休（小学校卒業式）
23(月)	休会	正副委員長会
25(水)	本会議	意見書案2件……一括上程 意見書案の提案理由説明 意見書案に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会報告 特別委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

## 議会ホットコーナー

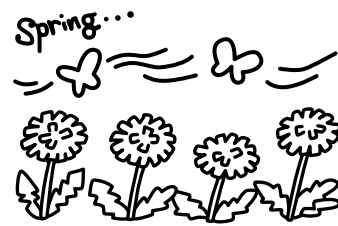
### 可決した意見書 2題

#### ◎使用済み核燃料中間貯蔵施設に関する意見書

玄海町長が誘致に前向きな発言をされたが、もとより原子力行政は、国・県と玄海町・唐津市との密接な連携によって進められており、10キロ圏外の伊万里市からの申し出はほとんど受け入れられていない。今回、県も唐津市も玄海町から事前の相談を受けていないことが判明し、両者の連携が危惧されるため、県知事には事実関係の究明としかるべき措置を、玄海町長には県民への説明責任を果たし慎重な判断をすることを求める。

#### ◎郵政民営化の見直し等に関する意見書

民営化後、サービスダウンが生じ不安の声が多く寄せられているため、国に対して郵便・貯金・保険のサービスが将来とも郵便局において確実に提供され、国民生活に支障が生じないような必要な措置を講ずることを求める。



### 次の人事案件を同意しました

・公平委員会委員 松尾宏子氏

・固定資産評価審査委員会委員 岩永孝雄氏 高田貞金氏  
島田美代子氏 本山邦彦氏

## 第4工業用水道建設事業の近況について

### 7月の給水開始に向け、事業進行中です！

伊万里市のホームページに掲載された内容から要点を抜粋します。詳しくはホームページをご参照ください。

建設事業のスケジュールと進捗率

工事項目	進捗率 ※	完了・開始予定
取水施設	100.0%	～平成20年10月
導水施設	100.0%	～平成21年3月
貯水施設	80.9%	～平成21年10月
浄水施設	95.2%	～平成21年6月
配水施設	99.6%	～平成21年6月
総合試運転	—	平成21年5月～
給水開始	—	平成21年7月～

※ 平成21年3月31日現在

#### 「締切堤設計・施工管理支援委員会」の設置(平成20年12月12日設置)

- ・当初からのアドバイザーや第三者的立場の先生と、佐賀県・伊万里市が一体となって現場状況のモニタリングとその結果に対する評価や意見集約をする機関
- ・3月末までに4回の委員会、7回の個別委員会を行い、具体的な工事手法から施工や工程の管理までを協議し決定

#### スケジュールの見直し(支援委員会の方針決定による)

- ・まずは試験的に排水し、その観測データから補強工事の効果を慎重に評価すべき
- ・特に変位の大きかった2箇所は上部工施工を先行し、締切堤の更なる安定を図りその後本格排水を行うほうがより安全で確実
- ・4月中旬から貯水池内海水の本格的な排水、5月から有田川より導水、貯水開始

#### 試験排水と補強工事の評価

- ・矢板の傾きなどを細かく観察する装置を設置した上で、昨年の大変位時よりも外海との水位差が大きい-1.7mまで水位を下げ観測
- ・昨年の最大変位218cmに対し、今回は23cm(安定領域内の数値)⇒補強工事の効果は確実に出ている

#### 第三者(九州大学大学院 善教授)による所見★2月18日

- ・当初の土質調査、設計、施工が現行の基準等に照らして合理的に行われたにも関わらず締切堤の異常変位が発生。当初の設計において土質の特異な弱部を評価することは不可能。変位は「想定外」

#### 国庫補助金の追加

- ・国庫補助金の全体額は22億6千万円程度となる見通しとなり、県・市の負担が軽減されることになった
- ・総事業費170億円(概算)のうち市の負担 61億円→58億円

## 総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

委員会に付託された一般会計補正予算2件、条例議案5件、21年度一般会計予算並に一般会計補正予算について、慎重審査の結果原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

3月議会の特徴として、一般会計補正予算を先に審議採決するという変則的な委員会開催となりました。理由として、定額給付金制度の実施にあたり給付を間に合わせるためには、システム開発業務の委託や人的体制の構築予算が早急に必要となったものです。

定額給付金の概要については平成20年度の緊急措置として、住民全員に1人あたり1万2千円(2月1日の基準日において65歳以上及び18才以下の者については2万円)を支給することとなっています。今後当市のスケジュールとしては、4月11日・12日から市内21箇所で一斉受付、その後随時申請を受付。決定通知後5月中旬頃より給付金の振込がなされる予定であり、申請受付締切は受付開始から6ヶ月となっています。職員170人で日常の業務を兼務しながら準備に入っていることから、一日も早い給付が望まれるところである。

伊万里市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定については一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する法律の改正に伴い、職員の勤務時間を変更するため。

伊万里市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例については、地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正に伴い改正する必要があるため。

伊万里市職員の給付に関する条例の一部を改正する条例については、一般職の職員の勤

務時間、休暇等に関する法律の改正に伴い、再任用短時間勤務職員の時間外勤務手当の適用方法を変更するため。

伊万里市長、副市長及び水道事業管理者並びに教育長の給付月額の特例に関する条例の一部を改正する条例制定については、市長等の給料を減額する期間を延長するために。

伊万里市報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例については、非常勤市民センター長及び住民税課税嘱託員に報酬を支給するためそれぞれ審査を行ったところである。

特に職員給与に関しては、勤務時間が8時間から7時間45分に短縮され、昼休み時間が1時間取れることになり、今後の有効的な活用方法を求めたところである。

一般会計当初予算関連については、第5次総合計画の内容の見直しは可能なのか。議会の意見がどの程度反映されるのか。今年度で6年目に入るアジアネットワーク事業の費用対効果疑問視する意見や、基幹系業務運営事業について、国民投票法が22年5月から施行されるに伴い、投票人名簿登録が18才となっており、現行の選挙システムでは対応できずシステムの改修の必要性を認め、当委員会としても理解を示したところである。



伊万里食品文化交流会(大連市)にて

◎笠原 義久      ○樋渡 雅純  
前田 教一      多久島 繁      松永 孝三  
船津 賢次      前田 久年      下平 美代

## 文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会、市民病院

当委員会に付託された条例議案5件、一般議案2件、予算議案15件について審査の結果、原案のとおり、可決・承認すべきものと決定しました。

留守家庭児童クラブの充実を進めるなかで4月1日から山代西クラブが開設され、大坪第2児童クラブの分離と合わせ、21年度は15クラブとなる。ここでは施設建設に県産木材使用の検討や、利用時間の延長と高学年受入れの優先順位についての議論があった。

## 乳幼児医療費助成の助成対象の拡大

助成対象者	助成内容	助成方法
0歳～ 3歳未満 《変更なし》	保険医療機関及び保険者ごとにそれぞれについて1月300円の自己負担のみ	現物給付（医療機関等での支払いは自己負担分のみ）
3歳～就学前 《通院・調剤を追加》	保険医療機関及び保険者ごとにそれぞれについて1月500円を控除した額を助成	償還払い（医療機関等で一旦支払った後、市役所へ申請。後日振込み）

衛生害虫駆除作業における受傷の損害賠償については、殺虫剤散布時の注意義務を十分に説明するよう求めた。

新年度一般会計予算で特記すべきものは、妊婦検診公費負担が、5回から14回までに拡大され、安心して妊娠・出産できる体制が確保された。しかし国からの6回目以降の支援措置は2年間限定であるので、その後の継続について十分に配慮しておくべきであると思われる。

教育関係では、スクールアドバイザー継続のための県費支援復活の要請、特別支援児童

生徒サポート体制の充足への問いや、外国青年招到（ALT）を継続するための国補助要請、学校や公民館のピアノ調律についての指摘もあった。

学校給食完全米飯化では、新年度から週5回実施されることとなった。これは、地産地消の拡大や栄養バランスのとれる給食を目指しながら、併せて経済負担の低減につなげていこうというものである。

特別会計のうち国民健康保険特別会計では人間ドックの助成を7割から5割に減額して受診対象者の要望に応えたいとの説明を受けた。

補正予算関係では、学校給食センター整備事業で、債務負担行為の変更が行われ、これを了承した。内容は、維持管理事務協定書において、経済的変動により日銀換算指数基準の上下があった場合はこれを改定することになっており、その整理を行うものである。

全体的な委員会のまとめの中では、同和地区に対する補助金のあり方について、今日まで行政として相当の努力をしてきたが、まだ十分の差別意識の解消につながっていないことは分かるが、今後は予算減についても慎重に検討すべきではないかとの考えも出された。



「給食、おいしいな～」

◎岩橋 紀行 ○山崎 秀明  
占野 秀男 高木 久彦 島田 布弘  
田中 啓三 福田 喜一 盛 泰子

## 産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

今議会、当委員会に付託された条例議案3件、補正予算議案1件、特別会計補正予算議案2件と新年度予算議案1件、特別会計予算議案6件について、慎重審議の結果、次の要望を付し原案の通り可決すべきものと決定いたしました。

小規模土地改良事業については、他事業の活用も図られているものの依然として地域の要望も多い。地域の要望も把握し、その要望に十分応えられると共に事業費上限の回復を望む。

また、公共下水道事業について受益者負担の原則に基づき、負担金及び使用料の尚一層の収納率向上を期待する。

条例議案のうち、伊万里市工場等の設置奨励に関する条例の一部を改正する条例制定については、今回誘致対象とするコールセンター等の情報通信業が現条例の「情報処理サービス業」に含まれないため条例改正により新たに定義づけを行い、併せて現行の伊万里市工場等の設置奨励に関する条例による優遇措置に加え「雇用の創出」を柱にした特別措置としての補助金制度の創設を盛り込むものである。工業用水道事業のうち、特に第四工業用水道事業については時間をかけ議論したところである。たわみ補強工事後の現況、今工事中である締切提上部工事の終了時期はいつ頃か、本年7月からの本格的給水は大丈夫なのか等、活発な議論が行われた。

道路整備事業については、道路維持事業、市道整備事業、都市再生道路整備事業、地方道路交付金事業、道整備交付金事業、辺地対策事業、交通安全施設整備事業等の予算が計上され多くの路線整備を予定しているとの説明を受け議論した。

路線バス運行事業の中で、新たな路線バス

実証運行については既存の路線バス経路となっていない全市38行政区に対し移動制約者を対象にした交通手段を確保するため、新たにバスを運行実証するもので実証期間は6ヶ月、また、行政区単位でアンケート調査を実施し、その実態を把握したい旨の説明を受けそれについて議論をした。



東山代町「元気バス」出発式

グリーンツーリズム推進事業については、畑の中のレストランをはじめ波多津町、川内野地区、炭山地区等で各々取り組んでおられる現状であり、今後は協議会を立ち上げ組織を一本化し、さらなる地域の活性化、産業振興、観光振興に繋げたいとの説明を受け議論した。

緊急雇用創出基金事業については、雇用情勢の悪化を受け、国からの交付金を財源として県と連携し地域の雇用機会の創出を図る事業であり、雇用期間、事業内容、雇用人数等について議論した。

伊万里津景観形成事業については、かつて「古伊万里」積み出し港であった伊万里津の賑わいを中心市街地に取り戻すことを目的にした修景整備事業で、伊万里川河畔に住時の伊万里津を再現した壁画を製作設置するものでこの事業の決定までの経緯、設置場所、壁画のサイズ、等活発な議論があった。

◎前田儀三郎      ○渡邊 英洋  
松尾 雅宏      松尾 博幸      草野 讓  
堀 良夫      内山 泰宏      浜野 義則

## 交通網、港湾、企業誘致対策調査特別委員会

## 1. 西九州自動車道の整備について

唐津伊万里道路については、南波多町原屋敷から府招間の用地取得率は面積ベースで約41%に達し、引き続き用地交渉に着手されている。

伊万里道路については、地質調査や設計業務が行われ、来年度には設計説明会を計画されている。

伊万里松浦道路については、山代ICから県境間の用地取得率は面積ベースで約78%に達し、買収の継続と佐代川橋梁の工事等が発注されている。

このように伊万里市域における西九州自動車道の整備は南波多町、山代町の両端から工事が行われ、一部現地ではその容貌を確認出来るようになった。

## 2. 港湾の整備について

多目的国際コンテナターミナル整備については、ケーソン7函の据え付けのための岸壁築造工事が1月28日に発注され、12月21日までの工期が予定されている。これによりマイナス13m岸壁の整備は大きな進捗を迎え平

成24年度完成を目指されている。

## 3. 企業誘致について

100年に一度と言われる世界的な規模の不況の中、伊万里市においても生産調整に伴い派遣社員が契約を更新されないなど、これを看過することは出来ない。しかしながら、そのような経済情勢の中、今年度は2社の新規立地があった。

工業団地について、分譲率は2月17日に伊万里団地が100%に達し完売したこと、七ツ島工業団地が77.7%であることから、企業誘致の受け皿となる工業団地は残りわずかとなっている。今年度、工業団地開発適用地調査が行われており、松浦町内及び東山代町内においてそれぞれ開発規模で20haから30haの適地を調査中である。開発を実行するには多額の経費も必要であるが、市の財政も厳しい中、積極的な取り組みを期待する。

◎草野 讓 ○樋渡 雅純 松尾 雅宏  
渡邊 英洋 高木 久彦 島田 布弘  
福田 喜一

## 地域医療整備対策調査特別委員会

## 1. 新病院建設における進捗状況等について

用地交渉やインフラ整備に係る協議等、病院建設に向けての一連の事務処理が伊万里・有田地区医療福祉組合においてなされている。病院用地については、地権者全員から農地転用申請についての承諾が得られ、用地確保における一応の見通しは立った状況にある。病院建物については、建物の構造、配置・動線計画等に関する設計協議や設計プランに対する各部会ごとの検討がされている。また、両病院職員に対しての事業説明もなされた。現時点での設計によれば、敷地の2段造成、病床数228床の建物とされており、建築単価においては、国立病院機構の建築標準仕様での1㎡当たり25万円から30万円という単価に対し、この新統合病院の基本計画では23万円と算定されている。しかし、今日の建築資材の高騰により、この金額では厳しいとの見通しもなされており、初期投資が多額になれば、後の病院経営に多大な影響を与えることになりかねないことから、設計業者に対して、可能な限り単価を抑えるよう要望もなされている。

## 2. 新病院建設に向けて

平成23年4月開院を目指して厳しい日程の中で、基本計画業務が完了した後、平成21年4月から実施設計業務に着手する予定。極めて短い期間の中で基本計画を行っているが、建物における部門配置、動線の検討から医師宿舎、院内保育の設置に関する事まで決定すべき事項は多い。また、経営形態については、伊万里・有田地区医療福祉組合の協議会にて、管理者である有田町長より地方公営企業法全部適用という一定の方向性が表明されている。その他にも、新病院の名称をどうするか、救急車両搬入進路の問題等々の課題は多く残っている。実際の経営にあたっては、病院職員の身分の問題や人事・給与面の調整等、慎重に協議しなければならない課題は多い。執行部におかれては、十分な議論を尽してもらいたい。

◎堀 良夫 ○多久島 繁 占野 秀男  
山崎 秀明 笠原 義久 前田儀三郎  
下平 美代

# 一 般 質 問 (質問順)

## 一 般 質 問 事 項

議員名	質 問 事 項	議員名	質 問 事 項
松尾 雅宏 (一問一答)	1. 一般県道黒川松島線バイパス供用開始に伴う安全対策及び未着手区間の計画について 2. 火災時において迅速な消火に支障をきたす地域及び民家の対応について 3. 21年度伊万里市における農業施策について (水田フル活用・水稲佐賀37号・伊万里牛課)	内山 泰宏 (一問一答)	1. 市民から慕われる戸栗美術館建設とはどのようなものか (1) 建設に向けて市の施策は 2. 新病院 (伊万里・有田) が建設されることにより伊万里市民にとって地域医療が今までとどのように変わるのか (1) 中核病院としてスムーズに運営するためには何が必要か
船津 賢次 (一問一答)	1. 猫の糞尿等による苦情相談の状況と対策について 2. 耳マークの普及について 3. 留守家庭児童クラブの対象年齢の引き上げについて 4. 緊急雇用相談窓口の相談内容等について	堀 良夫 (一問一答)	1. 地域の元気推進事業について (1) 事業の基本理念 (2) 権限・財源の移譲 (3) 1期計画 (5ヶ年) (4) 大賞表彰事業 2. 市内幹線道路網の整備促進について (1) 県道伊万里有田線 (セラミックロード) (2) 国道202号歩道の早期整備
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 公文書の管理・保存・活用について (1) 廃棄と保存の判断基準と範囲 (2) 行政資料の充実と市民図書館との連携 (3) 今後の課題 2. 緊急経済対策と本市の取り組み (1) 生活者支援 (2) 雇用対策 (3) 地域活性化	松永 孝三 (一問一答)	1. 学校給食について
盛 泰子 (一問一答)	1. 第4工業用水道事業について (1) 工事の状況と第三者による検証 (2) 県の関与 (3) 覚書の効力 (4) 情報の共有 2. 黒澤明記念館について (1) その後の状況 (2) 権利金の返還 3. 消防施設整備事業補助金について (1) 交付要綱の変遷 (2) 積載車格納庫整備補助 4. 情報の共有について (1) 要綱の公開 (2) 会議公開のシステムづくり	前田儀三郎 (一問一答)	1. 道路特定財源の一般財源化に伴う本市への影響について 2. 統合病院に伴う市民病院の跡地の課題について 3. 第4工業用水道事業について
島田 布弘 (総括)	1. 第11回インターネット公売について 2. 4市5町のごみ処理広域化計画とそれに関連する交通網 (西九州自動車道のインターまでのアクセス府招～藤川内間) 整備と松浦地区工業団地造成についての市の考え方について	下平 美代 (一問一答)	1. クレー射撃場の「閉鎖にむけて検討する。」(06年12月議会答弁)の検討の経緯と閉鎖の時期 2. 「雇用促進住宅」の廃止方針に対する市の対応
		福田 喜一 (一問一答)	1. 市内障害者作業所の運営状況と今後の行政の支援について 2. 山間地農業 (集落) の今後の存続について 3. 林業の活性化について 4. 林道計画について 5. 伊万里牛課の設置について



一般質問

伊万里市における  
新農業施策について

松尾 雅宏

**質問** 国は食料自給率50%に向けた施策を打ち出しているが伊万里市はどの様に  
対応するのか。(米粉・飼料糧)

**答弁** 産業部長

本市における主要転作物は大豆であるが昨年は計画面積を越えたため交付金が薄まった。

加えて他市に比べて反収が低いこの要因は適地以外に作付けしているためであるが、転作を達成し少しでも高い交付金を獲得するためには仕方がない面もある。今回打ち出された「水田等有効活用促進対策」は米で転作を行う事であり、山間・湿田を抱える伊万里市としては取り組む方向で検討を行った。問題点として現状の大豆に比べ交付金単価が少ない。米粉の供給先が不透明、製粉機械が高

額等がある。しかし国も単価の引き上げを検討中であり、市としても施策の動向を見極めJAと連携を取り対応を行います。

**質問** 佐賀37号の伊万里市における位置付けは

**答弁** 産業部長

伊万里市においては、県に先駆けて「たんぼの夢」を推進しその実績も決して見劣りする事はなく、当面普及推進は考えていない。

**質問** 伊万里牛課設置の目的について

**答弁** 市長

二つの目的があります。一つは「生産振興」であり伊万里牛を素牛から育て完全な伊万里牛とし、後継者育成も同時行います。二つ目には「まちづくり振興」です。伊万里牛ブランドによる食を活かしたまちづくりを行います。伊万里牛を食べるイベント、更には伊万里焼と組み合わせ、新メニューを創造し福岡都市圏からバスを連ね伊万里に人を呼び込む事を目的とします。

猫の糞尿等による  
苦情相談について

船津 賢次

**質問** 苦情相談の内容と件数、市の対応は。

**答弁** 市民部長

この3年間で16件の苦情が寄せられた。内容は猫の糞尿や鳴き声等の苦情であり、エサやりの自粛や猫の捕獲を要望されている。訪問してエサやりの自粛要請や、飼えない猫の保健所での引き取りについて説明している。

**質問** 対処療法的な対応と同時に、動物愛護法にもとづく長期的な取り組みが必要と考えるが。

**答弁** 市長

猫条例を制定し、動物愛護法にもとづく、飼い主の責務、市の責務等を明確にしていく必要があると考えている。

耳マークの普及を

**質問** 難聴者が高齢者の3割にもなっている。「耳マーク」の普及が必要ではないか。

**答弁** 市民部長

耳マークの購入等も含めて周知をはかっていきたい。

留守家庭児童クラブの引き上げについて

**質問** 4年生になったら一人で留守番させなければならぬことに保護者は大きな不安をもっておられる、せめて4年生まで引き上げる考えはないか。

**答弁** 市長

クラブが満員のところは基本的に3年生までとせざるをえないが、空きがあるところでは柔軟に対応しているのではないかと考えている。

四、緊急雇用相談窓口の相談内容等について(略)

公文書の管理・  
保存・活用

樋渡 雅純

**質問** ①本市での保存・廃棄にあたっての基準は。

②必要性がある時は、見直しも出てくる。どういう調整がなされるのか。

**答弁** 総務部長

①公文書規定の中で、永年、10年、5年、3年と保存すべき中身も細かく分けられている。②担当課と情報広報課と相談して行う。

**質問** 公文書を管理・保存し、後世に伝えることは、

大事な責任。作成から利用まで統一的に管理していくことが見直されている。市の考えは。

**答弁** 市長

公文書の保存・管理の重要性は認識している。短期年限見直し、劣化対策や収集・保存のための専門的意

見を聞くなど、歴史的文書の喪失を防止する対策は重要。担当者、司書、学芸員等を含めた検討会の設置を通じ、取り組む。

## 緊急支援対策

**質問** 定額給付金の目的は。生活支援と個人消費の喚起と理解している。申請は原則世帯主だが、代理人の申請は。

### 答弁 政策経営部長

同じ世帯であれば家族も可。寝たきりや認知症、施設に入所されている場合、民生委員、区長、親類、職員などでも可能。身分を証明するものが必要だ。



## 第4工業用水 建設事業

盛 泰子

**質問** 目下、市民の一番の関心事である。現況はどうか

### 答弁 水道部長

締切堤補強対策工事は12月末までにほぼ完成。第三者の立場の九大大学院教授から、当初の調査・設計・施工が現行の基準等に照らして合理的になされたにも関わらず変位が生じたのは、事前に予測することができない事態であったとの所見が出された。

**質問** ①8手法から今回の工法に決定したプロセスは公開されるか。また、万一給水が間に合わず損害賠償を求められた場合、県にも負担を求めべきだ。②これだけの費用と時間と労力をかけて整備する工業用水を必ず買ってもらう担保が必要ではないか③工事の状

況に関する情報共有を

### 答弁 ①水道部長②市長

①公開請求があれば、情報公開条例の規定に則って公開する。県と市は共通の責務を負っていると考える。②工業用水を確保する前提での企業進出であり、担保というより期限までに予定量を給水できるか否かがポイントだと思う  
③支援委員会での方針決定など節目をとらえてホームページで情報共有を行う。

## 消防施設整備 補助金

**質問** 格納庫整備への地元負担が重い。補助率や限度額を見直すべきではないか

### 答弁 消防長

格納庫整備補助金については昭和52年以来改正していない。積載車を軽自動車から普通車へ更新する場合や、部の統合に伴って新・改築が必要な場合には新たな軽減策を考えたい。

(2問省略)

## インターネット ト公売

島田 布弘

**質問** 不動産公売の反省点は

### 答弁 総務部長

年輩の方が応募しやすく配慮し、また落札後の使用目的も事前に明確化する。

## 4市5町ゴミ処理場建設

**質問** ゴミ処理場を本市以外に建設した場合の運搬費は？

### 答弁 市民部長

域内の中心部は武雄市橋町になり、年間3000万円の負担増となる。

**質問** 建設費161億円4700万円その積算根拠は？

### 答弁 市民部長

均等割額10%人口割90%で当市は概算で27億1000万の見込額である

**質問** 地域振興策が中々見えない。施設計画と並行し

て進めるべきと考えるが？

### 答弁 市長

私人としても、温浴、公認グラウンドゴルフ場10面のテニスコート施設はすばらしいと思う。振興策は避けて通れない問題であり維持管理等も協議し、松浦町の要望に真摯に対応したい。

## 松浦工業用地、藤川内府招線の道路改良

**質問** 松浦工業団地構想は？

### 答弁 ①産業部長、②市長

①H23年用地造成、H25年完成。分譲構想は用地30ha投資額30億円規模である。②実現できる判断は検証済みで、厳しい現状であるが企業立地勧奨を積極的に行っている。

**質問** 藤川内府招線道路改良の考え方は？

### 答弁 建設部長

西九州道路の開通にむけて府招のインターチェンジへの取付、国道202号より府招公民館前までの改良及び藤川内の急カーブで見通しの悪い峠付近の局部改良を検討する。

### 戸栗美術館建設について

内山 泰宏

**質問** 今後の方向性は。

**答弁** 市長

大川内山地区で戸栗美術館建設予定地として購入した場所が地滑りするのではないかと戸栗側が心配して、その安全対策費を数億円、市が負担をしなければならぬということとなり、市は財政状況厳しい中、負担することが困難なため第2・3の提案をした。2月上旬に戸栗側へ場所の確認をしたところ、父の遺志を継ぎ土地を購入したところで建設する意向である。戸栗側は「市が安全対策工事を講じればすぐにでも建設したい。今後、市の安全対策を講じるまで待ちたい」との考えである。市は市民の意見を聞きながら検討したい。

### 新病院（伊万里・有田）について

**質問** 新病院は中核病院となると地域医療病院などと連携が必要であるが市の考えは。

**答弁** 市長

今回の新病院建設は今、自治体病院の抱えている現状・課題をクリアしていく答えである。運営については良好な運営をしていかなくてもならない。中核医療といえども何でもかんでも対応できるものでない。そこにはかかりつけ医との連携も必要である、場合によっては高度医療が必要な患者を新病院に紹介するような地域完結型医療をめざしたい。その位置付も市民には分かっていただなくてはならない。そのためには市民への意識・啓発・普及をめざす。

### 地域の元気推進事業

堀 良夫

**質問** 事業の基本理念は

**答弁** 政策経営部長

「市民が主役のまちづくり条例」の主旨に沿って、地域住民が自主的・自立的でより元気な地域づくりを目指す本市の新たな地域づくりのシステムとなるもの。

**質問** 権限・財源の移譲とはハード事業も含むのか

**答弁** 政策経営部長

これまでの補助金とは違い、使途はかなりの部分で地域自らの決定により、まちづくり計画書の中に盛り込まれていけば、ハード事業であつても該当する。

**質問** 新たな本事業推進について

**答弁** 市長

地域の元気推進事業を起爆剤として、これまで培われた絆をさらに深め相互扶

助のもとに、住民自らが地域の課題に取り組み地域力を高め、市民主役の元気なまちづくりを積極的に進めていきたい。

### 市内幹線道網の整備促進

**質問** 県道伊万里有田線（セラミックロード）の建設は急務だが、県への建設要請は

**答弁** 建設部長・市長

新統合病院建設地東側に近接する有田町二ノ瀬から伊万里市古子間1000mについては、平成21年度に着工見込み。さらに古子・金武間約1300mにおいて今年度調査ボーリングが施工されており、その解析による法線の可能性について検討されている。この間の路線ルートが決定され次第、起点部、市道川東富士町線取付までの法線計画が進むと判断される。

(二問省略)

### 学校給食について

松永 孝三

**質問** 新給食センター（PFI事業）の成果について

**答弁** 教育部長

平成18年度の2学期から、4給食センターを統合して新給食センターが供用開始されました。体制面では、人件費が大幅な削減効果を得ている。施設面では、徹底した衛生管理が図られ、安全安心な給食の提供を行うことができる。調理面では、新たに炊飯機械の導入により、伊万里産のご飯を提供ができ、地産地消を推進している。また、二重食缶の導入で、保温と保冷の行き届いた給食を届けられている。

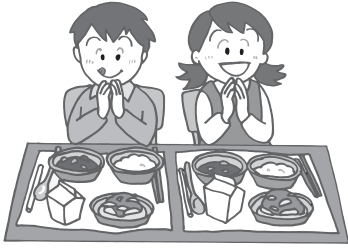
**質問** 給食費の未納問題について

**答弁** 教育部長・教育長

小中学校の給食費の滞納額は、平成21年1月末現在で、17年度分55万4597



円。18年度分50万7974円。19年度分85万7214円。滞納額の累計は、3カ年で191万9785円となる。給食費の滞納問題につきましても、保護者間の負担の公平感を欠き、納入意欲を削ぐ恐れがあるなど大きな問題である。納付の困難な家庭に対し、納付に関する相談や分割納入の相談などに応じて、納入しやすい体制作りに努める。一方、規範意識のない保護者に対しては、徴収対策支援班を設置し、学校に対する徴収の支援を図って行くことにし、更に、滞納者に対する法的措置等についても視野に入れながら、検討を行い未納問題解決に努める。



### 道路特定財源一般財源化に伴う影響は

前田儀三郎

**質問** 本市は国・県・市の各事業を行っているが、今後、道路整備事業に影響はないのか。

**答弁** 建設部長

現時点では影響はなく、事業は予定通り進んでいる。

### 市民病院跡地

**質問** 新統合病院に伴う市民病院の跡地について。

**答弁** 市民病院事務長

現時点では、検討しておりませんが、今後の課題と

**答弁** 市長

新統合病院の開院が平成23年4月を予定してあり、それまでに色々検討したい。

### 第4工水事業

**質問** 第4工業用水道事業

有田川からの取水は、上水道、第1工業用水道に今回の第4工業用水道と今までの農業用水「慣行水利」と伊万里市の水瓶として利活用されてきた、有田川改修が行われた経緯があり可動堰の維持管理等々の課題があり、今後一元化の検討は出来ないか。

**答弁** 水道部長

この、河川の利用率は高く、今までも水道事業は大変お世話になっている。今後も第4工業用水道が加わり、重要な河川と認識している、農業用水の慣行水利についても認識している。農家の方々に迷惑はかけないと考えている。

**答弁** 産業部長

第4号堰の改修については、21年度当初予算で、第4号堰の一部改修となっている。また4ヶ年事業で行うとの県の考えであるが、短期間で改修事業を行うよう県に働きかけを行う。維持管理等については、今後行政区と協議を行いたい。

### 散弾銃射撃場の閉鎖の時期

下平 美代

**質問** これまで射撃場問題で質問を続けてきたが「閉鎖にむけて検討する」の答弁（06年12月）後どのような検討がなされたか

- ①閉鎖にむけての協議
- ②射撃場の現在の利用状況
- ③閉鎖の時期

**答弁** 教育部長

①関係団体と10回協議をした。協議経過は地元、区長会にも報告した。②年間の開場日数189日に対して実際使用された日は92日、利用者数は市内88人市外774人。10日以上の利用者市内4人。

**答弁** 市長

閉鎖の時期を2011年を目途とし協会に提示協議する。

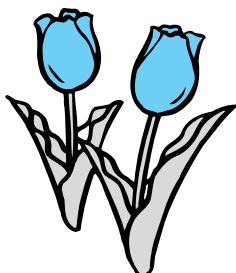
### 雇用促進住宅

**質問** 雇用促進住宅「譲渡・廃止」の方針で市には3月末までの回答が迫られているが市の対応は

**答弁** 建設部長

市内二ヶ所の住宅がある。黒川については、自治体の購入は厳しい。新天町の住宅は自治体にて購入したい。

黒川住宅については他に譲渡された後も入居者が直ちに退居等にならないように雇用能力開発機構に具申したい。



市内障害者作業所の運営に対する行政の支援について

福田 喜一

**質問** 作業所に対する支援策は。

**答弁** 市民部長

作業所に対し自立支援の給付の支給や運営費の助成をはじめ、上伊万里地区や旧ポリテクセンター跡などにおける施設や用地の無償賃借を行っている。また授産作業に必要な備品購入などの支援も行っている。

**質問** 低迷する工賃倍増計画について、各作業所のチラシ配布をされたがその効果は。

**答弁** 市民部長

企業や市民に対して施設や作業内容商品について、PRや啓発活動を行ない理解を求めた。現在CATVで各作業所の紹介を行なっている。今後も番組をDVD化してPRに活用する計

画である。

**質問** 耕作放棄地の発生防止の具体的対策は。

**答弁** 産業部長

耕作放棄地の発生防止、農地の再生は、有害鳥獣による被害防止や農地が持つ多面的維持、増進を行なう重要なこと。

対策としては、中山間地域等直接支払い交付金事業、中山地域総合整備事業、有害鳥獣対策等に取り組んでいる。

**質問** イノシシ駆除の取組と捕獲後の処理（加工等）について。

**答弁** 産業部長

駆除についてはこれまでの事業に取り組むと共に、県の新規事業として「イノシシ緊急一斉捕獲事業」が展開されることになり、通年での捕獲が可能となる。イノシシの肉活用については、農林高校で肉を使った、ソーセージ等の研究開発に取り組まれる。

議会運営委員会

当委員会では、引き続き、議会運営・改革についての検討を行っています。

会派について

今年度、会派についての調査研究・検討を行ってきました。訪問した5市議会のうち3議会では、議員の出席も得て率直な意見交換を行い、会派のメリット・デメリットについて学ぶことができました。

委員会では会派導入に賛成・反対の両論がありました。 「議会運営がスムーズになる」「議員の資質向上や議会活性化につながる」等の意見が多く、導入するとの結論を得て、全員協議会でその報告を行いました。今後、導入へ向けての準備がなされる予定です。

条例の議員提案について

伊万里市では第5次総合計画の策定中であ

り、地方自治法上は「基本構想」のみが議決対象となっています。これを「基本計画」まで拡大する条例を議員提案することについて、市の例規審査委員会専門員でもある議会事務局職員を講師として、全議員へ呼びかけての勉強会を行いました。このような試みは、伊万里市議会の歴史でも珍しいことだと思います。委員会としては、5月臨時会で条例を提案することについて賛成多数で決定しました。

なお県内では平成21年第1回定例会において、佐賀市議会がこの内容を含む「議会基本条例」を、佐賀県議会では「佐賀県行政に係る基本的な計画の策定等を議会の議決事件とする条例」を、ともに議員提案により制定しています。

- ◎盛 泰子      ○前田 久年      松永 孝三
- 松尾 博幸      船津 賢次      内山 泰宏
- 岩橋 紀行      田中 啓三      浜野 義則

## 行政視察受け入れの状況（平成20年10月～平成21年3月）

月	来訪議会名	人数	視察項目	
10	福井県鯖江市議会	7	農産物の伊万里ブランド化	委
	茨城県笠間市議会	9	企業誘致、窯業振興	委
	高知県四万十市議会	9	林業振興	会
11	石川県議会	17	「大川内鍋島窯跡」など歴史的文化遺産	委
	新潟県上越市議会	11	NPO法人伊万里はちがめプラン	会
	北海道帯広市議会	7	食のまちづくり推進条例、提案型公共サービス民営化制度	会
	兵庫県議会	14	食のまちづくり推進条例	委
	大分県豊後大野市議会	11	市民図書館の運営	委
	北海道江別市議会	5	障害者の就労支援事業	会
1	神奈川県茅ヶ崎市議会	3	いじめなし都市宣言	会
	千葉県市原市議会	11	議会運営、議会改革、一問一答制度の導入	委
	徳島県石井町議会	12	集落営農の組織化	委
2	長野県伊那市議会	6	空き家バンク制度、マイタウン定住促進条例	会
	愛知県常滑市議会	3	伊万里焼の振興	会
	富山県氷見市議会	11	佐賀牛（伊万里牛）の肥育、食のまちづくり推進条例	会
	三重県鈴鹿市議会	3	いまりんバス	会
	神奈川県逗子市議会	8	特色ある学校づくり、校長裁量予算	委
	岐阜県中津川市議会	5	食のまちづくり推進計画、議会改革	会
3	兵庫県姫路市議会	9	ポートセールス	会

※ 人数は議員の他、随行者も含まれます

※ 「委」は委員会、「会」は会派での視察を意味します

※ 多くの場合、伊万里市内に宿泊されています。伊万里市議会も出来るだけ視察先の自治体に宿泊するように努めています



西九州伊万里風あげ大会



牧島浮立（県道黒川松島線バイパス開通式）

**発行**  
伊万里市議会  
伊万里市立花町一三五五―一  
☎0955―23―2111  
☎0955―22―1277  
E-mail: gkai@city.imari.lg.jp

**編集**  
市議会だより編集委員会

**印刷**  
山口印刷株式会社

顧問 占野秀男、盛泰子

渡邊英洋

◎樋渡雅純 ○山崎秀明  
多久島繁 前田久年

今年の桜は、開花の期間がいつもより長く、少し得した気分でした。21年度の当初予算は、久しぶりの対前年度増でスタートしました。繰越を含めると大型の予算規模になっています。状況の厳しさはこれからで、春の気配を感じられるのはもう少し待つてのことになりそうです。このメンバーでの編集は今回が最後となります。この2年間、多くの方々の助言、ご協力により議会だよりが発行できましたことに、委員一同感謝をしております。議会だよりの記事がネタとなり、会話が盛り上がるきっかけになれば幸いです。

**編集後記**

